

第 21 回トワイライト・ゲームス

競技注意事項

2026. 7. 23 時点

1. 規則について

本大会は 2026 年度日本陸上競技連盟競技規則および本大会要項ならびに申し合わせ事項により実施する。

2. 競技場使用上の注意

- 1) 当該種目出場競技者、競技役員、主催者が許可した報道関係者以外は、競技エリアへの立ち入りを禁止する。
- 2) フィールド競技の練習は競技役員の指示に従い、競技開始前に各々の競技場所にて行うこと。
- 3) 競技場外構部周辺での練習は、公園利用者の迷惑にならない範囲で行うこととする。
- 4) トレーナー活動は、選手待機場所にて行うこと。

3. 練習について

- 1) 11 時 30 分～14 時 15 分までトラック内での練習を可能とする。フィールド競技の練習については、競技役員の指示に従い競技開始前にそれぞれの競技実施場所にて行うこと。ただし、競技運営の都合上、練習を制限することがある。練習中は自らも周辺に注意し事故防止に万全を期すこと。
- 2) トラックレーンの使い方は次の通りとする。

レーン	1	2	3	4	5	6	7	8
競技種目	中距離 ジョギング		スタブロ		女子 100mH 女子 400mH		男子 110mH 男子 400mH	

- 3) 各スタート場所にはスターティングブロックを設置する。
ハードル種目については、5 台のハードルを設置する。

4. 競技者の招集について

- 1) 招集所は 100m スタート側ゲート付近（諸室図参照）に設置する。
- 2) 各種目の招集開始・完了時刻は、競技日程に記載の通りとする。
- 3) 招集開始時刻に競技者係から競技者本人が点呼を受ける。その際、アスリートビブス、競技靴、スパイクピン、競技場内で着用するウェアや持ち込むバッグ等の商標のチェックを行う。また、荷物運搬袋および、トラック種目出場者のみ腰ナンバー標識（2 枚）を受け取ること。
- 4) 競技者はビデオ装置、レコーダー、ラジオ、CD、トランシーバーや携帯電話もしくは類似の機器を競技エリア内に持ち込んで서는ならない。スマートウォッチについては電波を発信しない状態（機内モードなど）に設定している場合のみ、持ち込みを認める。
- 5) 代理人による点呼は認めない。ただし、2 種目以上を同時に兼ねて出場する競技者は、あらかじめ本人または代理人が TIC（招集所前）に用意している「重複出場届」を、**招集を受けることができない種目の招集開始時刻までに** TIC（招集所前）に提出すること。
- 6) 招集完了時刻に遅れた場合や、「重複出場届」および「リレーオーダー用紙」がそれぞれの指定された時刻までに TIC（招集所前）に提出されない場合、当該種目を欠場したものとして処理する。
- 7) 招集開始および完了は、招集所に設置されている時計を基準として行う。
- 8) リレー種目は、オーダー変更の有無にかかわらず、リレーオーダー用紙（招集所に用意）を記入の上、**当該種目第 1 組招集完了時刻 1 時間前までに** TIC（招集所前）に提出すること。
- 9) 棒高跳の練習は、競技実施場所で競技開始時刻 1 時間 30 分前から行うことができる。また、棒高跳の招集は競技実施場所にて行う。

5. アスリートビブスについて

- 1) アスリートビブスは大会当日に出場団体受付（諸室図参照）にて1名につき2枚配付する。そのままの大きさで胸と背に確実につけること。ただし、跳躍種目出場者は胸または背だけでもよい。なお、出場者には氏名またはチーム名標記のアスリートビブスを配付する。氏名またはチーム名標記のアスリートビブスは胸につけ、番号標記のアスリートビブスは背につけること。
- 2) アスリートビブスの地色、数字の色は次表の通りとする。

男子	黄地×黒文字	女子	ピンク地×黒文字
----	--------	----	----------

6. 欠場について

- 1) エントリー後、病気または怪我等により、やむなく欠場する場合は、8月7日（金）19時00分までは、本連盟公式ウェブサイトに掲載している欠場届を印刷し、必要事項を記入、署名したものを指定アドレス(kanto-entry@kgrr.org)に送信すること。
また、8月7日（金）19時00分以降および大会当日に欠場を申し出る場合は、欠場届に必要事項を記入、署名し、TIC（招集所前）に提出すること。欠場届は配布物に3枚同封しているが、不足の場合は大会本部指定の用紙をTIC（招集所前）に取りに来ること。
- 2) 未提出のまま欠場をした場合は、今後本大会に招待をしない可能性がある。

7. 番組編成について

本大会は欠場者を除いた競技者により、7月28日（火）に番組編成を行う。確定した番組編成は本連盟公式ウェブサイトに掲載する。

8. 用器具について

- 1) 競技に使用する用器具（投てき物・棒高跳用ポールを除く）は、すべて主催者が用意したものを使わなければならない。
- 2) 棒高跳の練習に関しては、主催者が用意するゴム製バーを使用して行うこと。
- 3) 投てき物に関して、主催者が用意した投てき物としてリストに複数ないものについては、検査に合格した個人所有のもの（日本陸連検定品かつWA認証品に限る）を2個まで持ち込むことができる。
- 4) 投てき物の持ち込みを希望する場合は、事前に申請書を記入し、**招集開始時間の1時間30分前までに**正面玄関エントランス（諸室図参照）にて公式計測員による検査を受け、検査に合格した投てき物は主催者で借り上げ、競技者全員が使用できるものとする。また、破損等については持ち込み者個人の責任とし、主催者が責任を負うことはない。持ち込みされた投てき物は競技終了後、正面玄関エントランスにて返却する。

9. 競技について

- 1) **トラック競技について**
計時はすべて電気計時（0.01秒）を用いて行う。
- 2) **リレー競技について**
リレーメンバーに関しては、TR24.10〔国際〕を適用し、リレー・チームのメンバーは、どのラウンドにおいても、その競技会のリレー競技または他の種目に申し込んでいる競技者であれば、誰でも出場することができる。
- 3) **跳躍競技について**
 - ① 女子三段跳の踏切板の位置は砂場に近いほうの端から10mとする。
 - ② 男子棒高跳、女子走高跳のバーの上げ方は次の通りとする。（ただし、天候等の状況により変更することもある。）

※練習の高さは競技場所にて複数提示され、競技者はその中から選択する。

棒高跳男子	1	2	3	4	5	以降、最後の 1 人になり 優勝者が決まるまでは 5cm 刻みとする
	4m80	5m00	5m15	5m25	5m35	
走高跳女子	1	2	3	4	以降、最後の 1 人になり 優勝者が決まるまでは 3cm 刻みとする	
	1m60	1m64	1m67	1m70		

- 4) **投てき競技について**
 - ① TR9.4.2により男女同時に競技を実施をする。
 - ② 各ラウンドの試技順は、男子の試技が全員終了後、女子の試技を行う。

5) 助力について

- ①当該競技に関係するしないに関わらず、競技役員がある競技者に対して他競技者よりも有益となるような助言またはその他の支援を提供することは、当該競技者への助力とみなす。
- ②周回遅れまたは、周回遅れになりそうな競技者が先行する競技者のペースメーカーとして競技をした場合、または先行する競技者が周回遅れの競技者のペースメーカーとして競技をした場合、両者を失格として扱う。
- ③フィールド種目に出場している競技者に対して、録画映像を提供する者のすぐ近く（コーチングエリア近辺）であれば、録画した機材（ビデオ装置・携帯電話等）を競技者自身が手に取り、操作して確認することが認められる。しかし、競技者自身が録画機材等を招集所から持ち込むこと、映像確認後に競技場所等へ録画機器を持ち込むことは禁止とする。

6) コーチングエリアについて

監督・コーチエリアをメインスタンド・サイドスタンドに設ける。

10. 表彰について

- 1) 各種目とも 3 位までに賞金を贈呈する（2 組以上の場合はタイムレース記録上位 3 名とする）。
対象者には結果確定後、出場団体受付にて賞金を授与する。
- 2) 全競技終了後、最優秀選手を男女各 1 名選出し、表彰する。各種目の優勝者は、最優秀選手選出の可能性があるので、全競技が終了するまで競技場内に待機すること。

11. 結果発表と抗議について

- 1) 競技結果の正式発表は、メインスタンド正面のビジョンにて行う。
- 2) 今回は TR8.5 を適用するため、フィールド種目については、現場での抗議（競技中の抗議）があった場合、審判長により該当する事項を保全するためにその試技を計測、記録することが認められる。
- 3) 競技会進行中に起きた競技者の行為、または順位や記録に関する抗議は、当該競技者あるいは所属チームの代表者により、結果が正式発表されてから 30 分以内に、TIC（招集所前）にある抗議受付用紙に記入すること。その後、担当総務員（大会本部に常駐）を通じて審判長に伝達される。時間内に申し出がなければ、何ら問題はなかったものとみなす。抗議に対して審判長は速やかに裁定を行う。

12. 商標等について

競技者が競技エリアに商品名のついた衣類、バッグなどを持ち込む場合は、日本陸上競技連盟の「競技会における広告および展示物に関する規程（国内）」を遵守すること。基準をこえる商標や競技役員から指導・指摘された場合は、必ずテープ等を貼って隠すこと。

13. 緊急車両・応急処置の手配について

- 1) 救急車などの緊急車両を手配する事態が起こった場合、一刻を争う事態でない限り大会本部および競技場の許可なく手配をしないこと。手配する場合は、競技場より車両の手配を行うため、詳細を含め大会本部に連絡すること。
- 2) 競技中の事故等による身体の故障の場合、医師が応急処置を行うが、事故の結果について主催者は一切責任を負わないものとする。また、治療費等は本人負担とする。ただし、2026 年度公益社団法人日本学生陸上競技連合普通会員は、原則としてスポーツ安全保険に加入しているので、この保険が適用される場合がある。

14. その他

- 1) 本大会はBゾーン側サイドスタンドおよびメインスタンドを一般観客席とする。以下の区域に立ち入る者は、指定の ID カードを所持していなければならない。競技者は必ず ID カードをつけ、アスリートビブスでの規制エリア内への入場は認めない。ただし、招集を受けた後はその限りではない。
- 2) 競技終了後は、競技役員の指示に従いミックスゾーンを通して退場すること。

規制エリア	入場可能 ID (いずれか1つで可)
コーチングエリア	競技役員・チームスタッフ
選手待機場所	競技役員・選手・チームスタッフ
グラウンド・招集所・ミックスゾーン	競技役員・選手
各諸室	競技役員

- 3) 競技中に不測の事態が発生した場合は大会本部の指示に従うこと。その他、不明な点は大会本部に問い合わせること。

一般社団法人関東学生陸上競技連盟